



平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月12日

上場会社名 株式会社レイ 上場取引所 東
 コード番号 4317 URL https://www.ray.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 分部 至郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名) 牧田 渉 (TEL) 03(5410)3861
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年2月期第2四半期 | 5,138 | △7.5 | 178 | △4.8 | 164 | △11.1 | 92 | △32.0 |
| 30年2月期第2四半期 | 5,556 | 8.3 | 187 | — | 185 | — | 136 | — |

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 76百万円(△43.6%) 30年2月期第2四半期 136百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年2月期第2四半期 | 6.46 | — |
| 30年2月期第2四半期 | 10.57 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年2月期第2四半期 | 8,192 | 4,478 | 54.6 |
| 30年2月期 | 8,802 | 4,487 | 51.0 |

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 4,476百万円 30年2月期 4,485百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年2月期 | — | 0.00 | — | 6.00 | 6.00 |
| 31年2月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 31年2月期(予想) | — | — | — | 6.00 | 6.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-----|------|------|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 12,500 | 4.5 | 620 | 7.5 | 600 | 12.4 | 390 | 4.1 | 27.22 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 31年2月期2Q | 14,328,976株 | 30年2月期 | 14,328,976株 |
| 31年2月期2Q | 63株 | 30年2月期 | 62株 |
| 31年2月期2Q | 14,328,913株 | 30年2月期2Q | 12,894,014株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| (重要な後発事象) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあり、緩やかに回復しているものの、通商問題の動向が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響による懸念など不安材料も多く、景気の先行き不透明感が拭い切れない状況が継続しております。

当社グループの主要な市場である広告業界におきましても、景気動向と密接に連動し、その影響を早々に受けやすい業界環境にあることから、上記のような経済動向の影響により、先行きにつきましては十分留意する必要があります。

このような経済、市場環境のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、イベント・展示会等の分野を主に事業領域としておりますSP（セールスプロモーション）・イベント部門、映像機器レンタル部門の業績が振るわず、売上高は、5,138百万円（前年同期比7.5%減）となり、コストコントロールや経費削減等の施策の徹底を図ったものの、営業利益につきましては、178百万円（同4.8%減）、経常利益は164百万円（同11.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は92百万円（同32.0%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

（広告ソリューション事業）

SP・イベント部門につきましては、イベント・展示会等が多く開催される秋季期間に大きく業績を伸ばすといった季節要因が大きい部門でもありますが、第2四半期連結累計期間の業績は低調な結果となりました。また、TVCM（テレビコマーシャル）部門につきましては、業績は堅調に推移いたしました。TVCM業界において、従来のテープや光ディスク等によるプリント納品が、配信による納品に変更されはじめている状況はあるものの、その影響を軽減すべくコストコントロールの徹底等の施策も引き続き行っております。

この結果、広告ソリューション事業の売上高は、2,510百万円（前年同期比14.3%減）、営業利益は175百万円（同13.4%減）となりました。

（テクニカルソリューション事業）

映像機器レンタル部門は、第2四半期連結累計期間の業績は低調な結果となりました。例年第2四半期連結累計期間までの業績は、SP・イベント部門と同様に低めに推移し、秋のイベント・展示会等が多く開催される時期以降の受注が多い傾向があります。ポストプロダクション部門は、編集スタジオの稼働は第1四半期連結累計期間に引き続き堅調であり、受注環境の改善にも取り組み、TVCM部門同様プリント納品から配信による納品への影響も現状では大きく影響がなかったことから、業績は好調に推移いたしました。

この結果、テクニカルソリューション事業の売上高は、2,627百万円（同0.0%増）、営業利益は305百万円（同17.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の状況

（資産）

流動資産は前連結会計年度末に比べて887百万円減少し4,623百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加696百万円、電子記録債権の減少743百万円、売掛金の減少605百万円によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて277百万円増加し3,569百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の増加275百万円によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて610百万円減少し8,192百万円となりました。

（負債）

流動負債は前連結会計年度末に比べて508百万円減少し2,995百万円となりました。主な要因は、買掛金の減少282百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少110百万円、未払法人税等の減少62百万円によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて92百万円減少し718百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少302百万円、リース債務の増加213百万円によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて601百万円減少し3,713百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて9百万円減少し4,478百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少13百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は54.6%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比べて696百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末は1,845百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は1,583百万円(前年同期比162.9%増)となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益の計上164百万円、減価償却費の計上295百万円、売上債権の減少1,325百万円であり、主な減少要因は、仕入債務の減少額282百万円、法人税等の支払額88百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は152百万円(同86.8%増)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出102百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は734百万円(同98.8%増)となりました。

主な要因は、リース債務の返済による支出236百万円、長期借入金の返済による支出412百万円、配当金の支払額85百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の連結業績予想につきましては、イベント・展示会等が多く開催される秋季期間は繁忙期にあたるものの、社外リソースも多く活用する時期でもあることから、コスト管理や経費削減等の施策は継続してまいります。不確定要素もあり、平成30年4月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,148,666 | 1,845,138 |
| 受取手形 | 108,506 | 131,511 |
| 電子記録債権 | 1,189,776 | 446,333 |
| 売掛金 | 2,226,672 | 1,620,885 |
| たな卸資産 | 310,293 | 358,566 |
| 繰延税金資産 | 107,412 | 72,169 |
| 前払費用 | 96,698 | 119,190 |
| その他 | 325,100 | 29,906 |
| 貸倒引当金 | △2,820 | △676 |
| 流動資産合計 | 5,510,307 | 4,623,024 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 933,506 | 942,814 |
| 減価償却累計額 | △285,359 | △307,171 |
| 建物及び構築物(純額) | 648,146 | 635,642 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,160,795 | 1,106,777 |
| 減価償却累計額 | △926,501 | △893,506 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 234,294 | 213,270 |
| 工具、器具及び備品 | 297,928 | 300,544 |
| 減価償却累計額 | △260,598 | △266,344 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 37,330 | 34,200 |
| 土地 | 1,109,883 | 1,109,883 |
| リース資産 | 1,485,700 | 1,664,612 |
| 減価償却累計額 | △818,934 | △753,978 |
| リース資産(純額) | 666,765 | 910,633 |
| その他 | — | 68,125 |
| 有形固定資産合計 | 2,696,420 | 2,971,755 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 84,666 | 81,946 |
| のれん | 4,378 | 2,189 |
| その他 | 7,847 | 7,834 |
| 無形固定資産合計 | 96,892 | 91,970 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 204,582 | 202,826 |
| 出資金 | 686 | 1,933 |
| 長期貸付金 | 5,018 | 5,018 |
| 破産更生債権等 | 39,868 | 39,887 |
| 長期前払費用 | 28,275 | 32,992 |
| 敷金及び保証金 | 213,856 | 216,325 |
| 保険積立金 | 49,871 | 49,996 |
| 繰延税金資産 | 200 | 230 |
| その他 | 1,120 | 1,120 |
| 貸倒引当金 | △44,887 | △44,905 |
| 投資その他の資産合計 | 498,592 | 505,425 |
| 固定資産合計 | 3,291,905 | 3,569,151 |
| 資産合計 | 8,802,212 | 8,192,176 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,150,362 | 867,910 |
| 短期借入金 | 1,240,000 | 1,240,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 110,000 | — |
| リース債務 | 357,099 | 405,442 |
| 未払金 | 180,988 | 137,745 |
| 未払消費税等 | 62,724 | 21,259 |
| 未払費用 | 68,857 | 63,842 |
| 未払法人税等 | 112,459 | 50,345 |
| 預り金 | 13,180 | 21,495 |
| 賞与引当金 | 205,784 | 170,272 |
| その他 | 2,716 | 17,248 |
| 流動負債合計 | 3,504,174 | 2,995,562 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 302,500 | — |
| リース債務 | 365,878 | 579,310 |
| 繰延税金負債 | 26,044 | 20,717 |
| 資産除去債務 | 116,261 | 118,250 |
| 固定負債合計 | 810,684 | 718,278 |
| 負債合計 | 4,314,859 | 3,713,841 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 471,143 | 471,143 |
| 資本剰余金 | 726,720 | 726,720 |
| 利益剰余金 | 3,236,676 | 3,243,331 |
| 自己株式 | △10 | △11 |
| 株主資本合計 | 4,434,529 | 4,441,184 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 39,346 | 26,062 |
| 為替換算調整勘定 | 11,671 | 9,233 |
| その他の包括利益累計額合計 | 51,018 | 35,296 |
| 非支配株主持分 | 1,804 | 1,854 |
| 純資産合計 | 4,487,353 | 4,478,334 |
| 負債純資産合計 | 8,802,212 | 8,192,176 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 5,556,101 | 5,138,564 |
| 売上原価 | 3,999,952 | 3,559,319 |
| 売上総利益 | 1,556,149 | 1,579,244 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,368,554 | 1,400,596 |
| 営業利益 | 187,595 | 178,647 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 2,535 | 754 |
| 出資金運用益 | 1,830 | 4,686 |
| 貸倒引当金戻入額 | 203 | 2,125 |
| その他 | 2,876 | 3,441 |
| 営業外収益合計 | 7,445 | 11,007 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,670 | 3,139 |
| 持分法による投資損失 | 2,025 | 10,847 |
| 借入金繰上返済清算金 | — | 6,661 |
| その他 | 1,194 | 4,432 |
| 営業外費用合計 | 9,891 | 25,080 |
| 経常利益 | 185,150 | 164,574 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 40 | 163 |
| 特別利益合計 | 40 | 163 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 0 |
| 減損損失 | 5,066 | — |
| 投資有価証券評価損 | 3,323 | 643 |
| 特別損失合計 | 8,389 | 643 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 176,801 | 164,095 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 37,554 | 35,415 |
| 法人税等還付税額 | △3,415 | — |
| 法人税等調整額 | 6,307 | 36,001 |
| 法人税等合計 | 40,446 | 71,417 |
| 四半期純利益 | 136,354 | 92,678 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 79 | 49 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 136,274 | 92,628 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 136,354 | 92,678 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,356 | △13,284 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △1,168 | △2,437 |
| その他の包括利益合計 | 188 | △15,722 |
| 四半期包括利益 | 136,542 | 76,956 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 136,462 | 76,906 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 80 | 49 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 176,801 | 164,095 |
| 減価償却費 | 286,096 | 295,957 |
| 減損損失 | 5,066 | — |
| のれん償却額 | 2,189 | 2,189 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △203 | △2,125 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △15,567 | △35,512 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,535 | △754 |
| 支払利息 | 6,670 | 3,139 |
| 借入金繰上返済清算金 | — | 6,661 |
| 出資金運用損益 (△は益) | △1,830 | △4,686 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 2,025 | 10,847 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | △40 | △163 |
| 固定資産除却損 | — | 0 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 3,323 | 643 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 237,600 | 1,325,523 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △105,145 | △48,272 |
| 長期前払費用の増減額 (△は増加) | △2,328 | △2,328 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 36,601 | △282,452 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | 5,182 | 283,461 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | 37,547 | △37,743 |
| その他 | △1,673 | 2,010 |
| 小計 | 669,781 | 1,680,490 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,535 | 754 |
| 利息の支払額 | △6,602 | △3,271 |
| 借入金繰上返済清算金の支払額 | — | △6,661 |
| 法人税等の支払額 | △67,029 | △88,255 |
| 法人税等の還付額 | 3,455 | 118 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 602,140 | 1,583,174 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △57,436 | △102,257 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 212 | 187 |
| 資産除去債務の履行による支出 | △3,620 | — |
| ソフトウェアの取得による支出 | △7,995 | △16,146 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,885 | △33,986 |
| 出資金の払込による支出 | △10,438 | △20,472 |
| 出資金の回収による収入 | 17,226 | 23,812 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △15,756 | △3,549 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 2,888 | 1,080 |
| その他 | △4,876 | △1,234 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △81,680 | △152,568 |

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日) |
|---------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 5,870,000 | 4,920,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | △5,880,000 | △4,920,000 |
| リース債務の返済による支出 | △227,365 | △236,205 |
| 長期借入金の返済による支出 | △55,000 | △412,500 |
| 自己株式の取得による支出 | — | 0 |
| 配当金の支払額 | △76,944 | △85,429 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △369,309 | △734,134 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 151,149 | 696,471 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,186,864 | 1,148,666 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,338,013 | 1,845,138 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|-------------------|-------------|----------------|-----------|-------------|---------------------------|
| | 広告ソリューション事業 | テクニカルソリューション事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,929,592 | 2,626,509 | 5,556,101 | — | 5,556,101 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 23,535 | 114,531 | 138,066 | △138,066 | — |
| 計 | 2,953,127 | 2,741,040 | 5,694,167 | △138,066 | 5,556,101 |
| セグメント利益 | 202,755 | 259,883 | 462,638 | △275,043 | 187,595 |

(注) 1 セグメント利益の調整額△275,043千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「テクニカルソリューション事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては5,066千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|-------------------|-------------|----------------|-----------|-------------|---------------------------|
| | 広告ソリューション事業 | テクニカルソリューション事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,510,991 | 2,627,573 | 5,138,564 | — | 5,138,564 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 17,570 | 156,570 | 174,140 | △174,140 | — |
| 計 | 2,528,561 | 2,784,143 | 5,312,704 | △174,140 | 5,138,564 |
| セグメント利益 | 175,522 | 305,304 | 480,826 | △302,178 | 178,647 |

(注) 1 セグメント利益の調整額△302,178千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。